

懸濁水中放射性セシウムモニタリングシステム

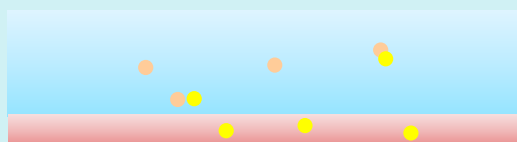
- 河川やダムなどでのセシウム濃度のリアルタイムモニタリングが可能
- 濁度とともに測定するため、直接放射線測定する場合の20倍の高感度

キーワード：放射性セシウム、排水、汚染水、環境モニタリング、上下水道、ダム、河川、懸濁

技術の原理

通常時

○ 土壌粒子 ● 放射性セシウム



増水時



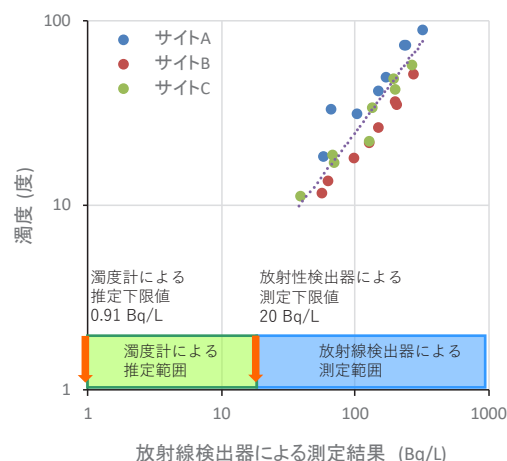
水中において放射性セシウムは微小な土壌粒子（懸濁物）に結合して移動することが分かっている。

水中の土壌粒子の濃度を示す濁度と放射性セシウム濃度は相関関係にある。

濁度と水中の放射線量を同時に計測することで低濃度の放射性セシウム濃度を現場で検知することが可能となる。

河川・湖沼水中もしくは除染等による排水中の放射性セシウム濃度のリアルタイムモニタリング

土壌粒子と放射性セシウム濃度の相関例（福島での測定結果から）



適用（製品）例

河川・湖沼の濃度モニタリング



取水口の濃度モニタリング

技術のステージ



実用化開発

利用分野

原子力、除染、排水、環境モニタリング

関連業種

電気業、技術サービス業

知財・関連技術情報

特許第7072793号
(共願：(株)東邦電探)

技術の詳細

